

シニアオリエンテーリング

あいちシニアオリエンテーリング愛好会 444-0856 愛知県岡崎市六名1丁目 5-6

No.24 2025.12

ホームページ: <https://www.mics.ne.jp/~ono511/senior.htm>

謹賀新年 2026 年スタート



宮崎県都井岬の野生馬(ぼうぼうぼうずの Web サイトより)

2025 年の主なできごと

デフリンピックでオリエンテーリング アピール

11 月 15 日～23 日に東京都の日比谷公園と伊豆大島でオリエンテーリングが実施された。大会前からデフリンピックは広くマスコミに報道され、聴覚障害者への理解が深まった。また、オリエンテーリングも新聞、テレビなど最近にないマスコミ報道がされ、知名度向上が期待される。



中日新聞より

ねんりんピックでオリエンテーリング

岐阜県で開催されたねんりんピックでオリエンテーリングが3年ぶりに実施され、生涯スポーツをアピールした。

一方10月4日の全日本大会の高齢者の事故を受け、行政提案で位置情報把握システムをねんりんピック選手は携行し競技した。また、熊による死亡事故が東北地方を中心に発生し、岐阜県でも近くの高山市で熊の目撃情報がでているため、熊鈴や携帯電話の携行が強く推奨された。



位置情報システムをつけた参加者

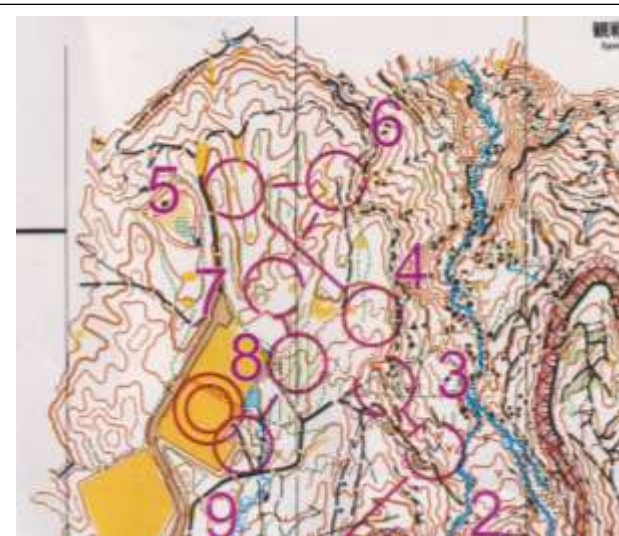
全国レクリエーション大会でオリエンテーリング

11月2日愛知県で開催された第79回大会でオリエンテーリングが実施され、愛好者以外の参加者も見られた。

高齢者の重大事故発生

那須塩原市で10月4日開催された全日本大会で高齢者の方が遭難し、死亡に至るという重大事故が発生した。

大会地図から推定するとわかりやすく地図表現することが難しく、競技者にとっては現在地を失いやすい地形と思われる。また、北と東に安全回路がなくマップアウトの恐れがあった。



M80A・W75A コース地図

ARDF 大会 見学

2025 年 12 月 14 日(日) 豊橋市岩屋緑地公園

ARDF (Amateur Radio Direction Finding、アマチュア無線方向探知)の世界大会の様子を岡崎市在住の中村さんからの寄稿で本紙2025年8月号に紹介させていただいた。中村さんと一緒に世界大会に行かれた日下部さんが中心となって豊橋市の岩屋緑地公園でARDF大会(正式イベント名:2025 冬季 ARDF ゲーム)が行われるのでこの大会の地図提供者の私としても、どのような競技なのか知りたいと思い、出かけてみた。

雨もほぼ上がった10時ごろに会場の駐車場に着くと、参加すると聞いていた内藤さんをはじめ

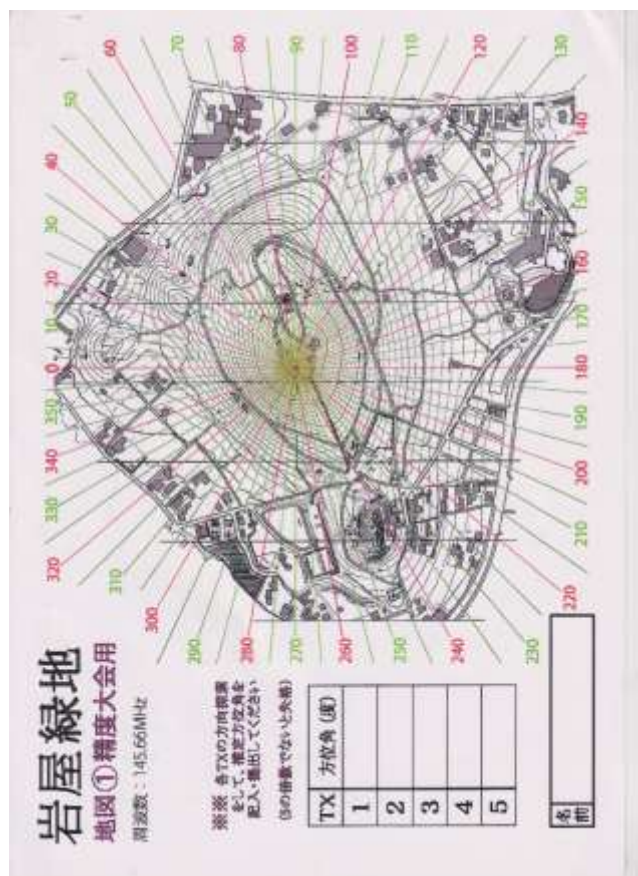
何人かのオリエンテーリングの仲間のお顔を拝見することになり、オリエンテーリングとの二刀流を楽しむ方が少なくないことを知る。



顔見知りのオリエンティアは参加のみならず、運営にも何人か入っていた。

日下部さんの進行で開会式・競技説明を行い、そのあと、そろってスタートへ向かう。

まずは精度大会が実施された。地図に 5 度間隔で放射状に描かれた線と角度を示す数字が書いてある。競技者はこのトレインでは最も高い場所であり、放射線の中心点でもある。頂上広場でトレイン内に置かれた発信機 (TX) から発せられる信号を受信し、信号の強さから、1 番の TX は何° (度)、2 番は何° と判断し地図に設けられた解答欄記入して提出する。ウィキペディアによれば発信される信号はモールス信号で 1 番は — — — — — ・ 2 番は — — — — — ・ ・ ・ というように末尾の短信号が番号を表すようになっている。ただし、発信機からの発信は 1 分間で、次にはほかの発信機から 1 分というようにリレーして発信される。



精度大会がなぜ山頂でかつ地図のほぼ中心

だったのかも後からわかってきた。続いて本番のレース。スタート場所を 100m ほど移動し、数名ずつスタート。地図のほぼ競技者は受信信号を頼りに、TX へ向かう。競技者の移動速度は意外と速い。競技者と少し間隔を置いてついていくと、いつの間にか見失ってしまい、なんの知識も情報もない私はまた新たな競技者を見つけるために相当園路を歩き回った。そして、やっと競技者について行って、発信機を発見した。アンテナと黒い買い物かごに SI のユニットがおいてあった。ウィキペディアによれば、オリエンテーリングのフラッグもつけるとあったので、こんなに見つけにくい黒色でいいのかな? と思い会場へ戻る。

発表された結果を眺めたのち、頭の中が整理できないまま帰宅。

1, なぜ本大会のスタートと精査大会の場所がずれているのか

2, 今回コントロールがなぜトレインの淵で、特徴物のないところに置かれるのか。
通行可能度のよいところ、直進可能などところにおいてもよさそうなものだが・・・

帰宅後ウィキペディアなどもネット情報を読みながら考える。

1 は精査大会で得た各 TX の方向と本大会で受信する方向の交点を求め、およその位置を推定するためという理由にたどり着く。

2, 大会後公開された地図上の TX 位置を見ると、必ず、5° 刻みで書かれた放射状の線上に置かれている。だから、オリエンテーリングでいう特徴物と重なる可能性はほとんどないということだ。また、TX はお互いに 400m 以上離し、スタートから 750m 以上離すというルールがあり、この東西・南北とも 700m の狭いトレインでは、トレインの隅っこになろうとも、見通しが悪くともおかざるを得なかったことが理解できた。

そして、1 TX からの信号は 1 分間で途絶え、他の TX からの発信に切り替わるので、目指す

TXからの信号がないときはどうするかということ
を内藤さんにメールで尋ねると、今まで得た信号
から推定される場所を目指す場合もあるし、他の
TXの信号を受信して、位置情報データを増や

しておく場合もあるそうです。競技者の地図には
きっと線がいっぱい書き込んでいそうに想像され
ます。 なんとかわかったような気になってい
るがいっぱい誤解しているような気もします。



林の中で探索中



ヤブの中でTX発見



TX

令和7年12月9日 祖父江の黄葉巡り 永井 昇

★名鉄電車で知立駅から一宮駅へ出て、尾西線の森上行きに乗換るのは皆が知っていたのだが、同じ①番線ホームで停車中の玉ノ井行(反対方向)に乗ってしまいました。

このままずっと同じ電車で再び一宮駅に戻って来て、森上行きに乗り換えました。

ここから再スタートで森上駅まで行き、駅前の饅頭屋さんで買い物してからウオーキングの始まりです。



ひたすらに「イチョウの黄葉」を求めて祖父江の街

を歩きます。

公共の施設の中では飲食が禁止の所が多く、神社境内の小さな遊園地で昼食休憩をとりました。

昼食後ウオーキングの途中、簡易郵便局の前に銀杏の無人販売所ができていて、ここで銀銀杏を買い求めていました。

祖父江の善光寺さんで小休止して山崎駅より帰途につきました。

去年は葉の元にみどりの部分が残っていましたが、今年は既に収穫も終えて小枝にはほとんど葉もついておらず落ち葉も枯れていました。

丁度良いタイミングを見けるのは難しいようで、だから何度でも訪れるのでしょうか。

森上駅～3.3km～神社(昼食)～1.0 km～祖父江善光寺～3.2km～山崎駅 合計歩行距離 7.5Km

★当日の参加者は 19 名でした。

<http://www.katch.ne.jp/~n-nagai/olsyasinsyu.files/walk251209.htm>

ウオーキング写真を見る事ができます。

以上

思い出のオリエンテーリング

香港での APOC

小野盛光

日本のオリエンティアにとって、身近な国際大会といえば、「環太平洋オリエンテーリング大会(POC)」 「アジア・太平洋オリエンテーリング大会(APOC)」 。日本での開催を除けば、オセアニアや香港では年末・年始に開催され、日本人にとっても大変参加しやすい大会であった。

今回取り上げたのは年末・年始開催の身近な国際ということと先日あった香港でのビル火災の2点からです。

先に述べた2つの大会は一連の大会名称で、第1回(オーストラリア)と第2回82年に開催された日本開催までがPOC、第3回からAPOCとしてニュージーランドで83年年末から84年年

始に開催され、そして85年年末から86年年始に香港で開催された第4回大会。

最初の香港でびっくりしたのは巨大なビルを飾るイルミネーションと高層マンションとかアパートの外壁工事のための竹を組んだ足場。



先日の大火事で、この足場が火災の拡大につながったということで、当時の写真がないか探してみましたが、見当たらず。当時でも、日本ではありえない光景だとびっくりしたが、40 年後も、まだ使われているかと思うと 2 度のびっくりである。



Web サイトから

この最初の香港行は東芝ツーリストが企画し、日本から多くにオリエンティアが参加した。

その次の 1995 年年末～1996 年年始の APOC はつるまい OLC の故鈴木政巳さんと一緒に参加

したが、最初に行くべき大会本部の場所がわからず苦労した。レストランで食事をしながらこまった、こまったと鈴木さんとその話をしていたら、隣の席の方（スウェーデンの方と記憶している）が、オリエンテーリングの参加者ですかと聞いてくださり、大変助かりました。

3 回目の 2006 年年末～2007 年年始は岸和田協会の前田春正さんと参加。郊外の寮に宿泊したため、少々、わびしかった。この時は、WOC2005 で地図作成をお願いしたペローラさんにお会いした。

3 大会とも地元の子供の参加が多く、盛んなボーイスカウト、ガールスカウト活動の様子がうかがえた。

APOC も 2012 年の中国開催あたりから、日本では一般オリエンティア間で盛り上が欠けてきた。そして最近 APOC は開催されていない。

香港は 1997 年にイギリスから中国に返還されたが、その後も一国二制度が維持され、2006 年のときも返還前と変わらない雰囲気であったが、2014 年ごろから政府の圧力がたかまり、自由で民主的な雰囲気が損なわれている現状では仮に今 APOC が開催されても、以前のように参加する気持ちは高まりそうもない。

以上

お知らせ

◎日本オリエンテーリング協会だよりが発行されました

クリックしてご覧ください [direction54.pdf](#)

内容:全日本大会における事故と再発防止・テフリンピック・アジアジュニアユース選手権 他

◎主催大会 岡崎岩津オリエンテーリング大会

2026 年 2 月 1 日(日) 岡崎市岩津地区にて開催

19 歳～64 歳の方のために短めコース MAS WAS を設定しました

要項 <https://www.mics.ne.jp/%7Eono511/senior/iwazuy2.pdf>

◎2026年1月24日(土)R7年度第2回東海地区 OLC 連絡協議会開催

様々なオリエンテーリングに関するご意見、ご希望をお寄せください。議題にあげさせていただこうと思います。 ono511☆m4.catvmics.ne.jp (☆を@に変えて)までお願いします。